

R6年度 学校評価委員会感想及び議事録

◎保育をご覧になって

☆こどもの様子

- ・みんな元気があって、明るく挨拶も大きな声で出来る。
- ・どの園児も良い意味で自由にしている、とても楽しそうだなと感じました。
- ・人懐っこくて手を振ってくれたり、抱きついてくれたり、話しかけてくれたり、みんな愛らしくて先生や友達にたくさんの愛を貰っているんだと感じました。
- ・子ども達が担任を慕う様子を感じた。
些細な事で反応されたり、認められたりする事に喜ぶ姿が微笑ましかった。
- ・学年関係なくみんな元気に仲良く遊んでいるのが、とても素敵だと思った。
みんな表情が明るく、キラキラしていると思います。
- ・皆、生き生きとして授業を受けていながら、次になにをしなければいけないかを自覚して行動しているように感じられました。

☆保育者の様子

○挨拶・笑顔・子どもたちに対する接し方

- ・こちらよりも先に、挨拶をしてくれます。
 - ・子どもに対して真剣に向き合っていると感じました。
 - ・どの先生も会うと元気いっぱい挨拶をしてくれて、こちらも元気がもらえました。
 - ・素敵な笑顔で、こちらもつられて笑顔になります。
 - ・園児に急に声を掛けられても常に笑顔で、その笑顔がとても柔らかく感じました。
 - ・こども一人ひとりしっかり向き合ってくれており、一緒に楽しそうに遊んでくれており嬉しかったです。ダメな時はダメとしっかり注意してくれていて、その面もとても安心しました。
 - ・入室した来客に、子どもと一緒に挨拶する姿がみられた。
 - ・教室での先生方の姿を思い返してみると笑顔の場面しか浮かばず、子ども達が安心できる環境が作られていることを感じた。
 - ・名前を呼びながら接したり、その場に応じて声色で子ども達を惹きつけていることが印象的であった。
 - ・先生達全員で全園児の顔と名前を把握しており、いつも温かく見守ってくれているのがとても嬉しいです。
- 保護者に対しても、担任以外の先生が声を掛けてくださり、日々の子どもの様子を伝えてくだ

さり安心感がありました。

いつでもキラキラ笑顔で子どもと同じくらい元気なので、元気が出ます。

子ども目線で、上から指導するような事もなく、子どもの気持ちを優しく受け止めてくださり一人ひとりに寄り添って下さるところが、素晴らしいと思います。

- ・保育中にもかかわらず目があえば会釈で挨拶してくれます。

また、保育者の皆さんもよく挨拶をしてくださいます。

- ・皆さん笑顔で子ども達に接しています。

- ・子ども達に接するときは、子どもの目線にまで体をかがめてお話している姿が見受けられます。

☆環境について

○各教室の壁面

- ・子ども達が描いた絵や文字は、書いている状況が想像でき見ていて幸せな気持ちになりました。

- ・一つひとつの教室で壁面の飾りが違って、先生の人柄が出ているなと思いました。

どの教室もとてもかわいくて、素敵だと思いました。

子どもに分かりやすいように工夫してあって、子ども自ら動けるようになっているのだなと感じました。

- ・季節を感じられる飾りが多数あり、子ども達が自分で製作したもので様々な季節の移り変わりを感じ取れることが、素敵だと思った。

- ・クラス毎、子ども達の関心、興味に合わせた展示や目標が掲げられてあり、個性があって素敵だなと感じました。

- ・子ども達の作品が貼られていたり楽しかった思い出が貼られていたり、来訪者が見ても楽しめる良い取り組みと思います。

○玄関、廊下など

- ・整理整頓がされていて、気持ちよく利用できると思います

- ・木の置物だったり教室内に木の物入等、木を使った物が多く柔らかな、そして温かい感じがしました。

- ・玄関にはその四季のものが飾ってあり子どもにもその時のイベントが分かりやすいと思いました。廊下や手洗い場の所にも色々貼ってあり、工夫しているなと感じました。

- ・子どもの作品を盛り上げるかのような先生方のコメントや飾り方によって、より引き立てられていた。

- ・子どもが入ると危ない場所にはチェーンで分かりやすく、入れないように工夫してありました。また、手洗い場には子どもが分かりやすいよう写真やイラストで手洗い方法を貼ってあり、過ごしやすい環境が整えられていると感じました。

- ・玄関、廊下、教室と外光が入り、とても明るい雰囲気に感じられました。

☆その他感想

- ・教室にカメやカマキリの卵、マツカサ等があり、子ども達が持ってきた物かと想像しました。
子ども達の興味のあるものを大切にしている様に見えました。
渡り廊下を上履きで歩きましたが、下履きと区別した方がよかったかと。
- ・園内のどこでも子どもの楽しそうな声が聞こえてきて、とても幸せな気持ちになりました。
子ども達が外で遊んでいるときも、先生がしっかりと近くでも遠くでも見守っているのが見えました。そのお陰で子ども達が安心して遊べているのだと感じました。
- ・アレルギーや様々な危機管理についての理解度の高さに驚いた。
子ども達が安心して過ごせる当たり前の日常は、先生方によって守られているのだと感じた。
- ・自然がいっぱいの園庭で伸び伸びと自由に遊んでいる園児を見て、型にはまらない自然遊び体験から自主性や、コミュニケーション力といった生きる力が育っていくんだなと感じました。
またアレルギー対応時の緊急時マニュアルや防犯対策のマニュアルもしっかりと周知徹底されており、素晴らしいと思いました。
- ・お伺いしたときに園庭でリレーの練習を行っていましたが、園児達が最後まで諦めずに一生懸命に走る姿が素晴らしかったです。
- ・子ども達がみな人懐こく自ら話しかけてきたり、挨拶をしたりととても愛らしく感じました。

1. 保育の計画（R6年度）

評価・反省

- ・カリキュラムに沿って日々の活動を構成するよう心掛けたり、子ども達に合った玩具を作って提供できた。子どもの目に届く所に教材を置いていたこともあり、子どもの気が散ってしまった。
- ・室内遊びでも子ども達の興味に合わせ、遊びが広がるよう物を準備し楽しめるように工夫出来た。
- ・互いの保育を見せ合うという点が、不十分だった。幼稚園教育要領の見直しをするべきだった
- ・幼稚園教育要領に沿った計画が出来ていないことがある。
- ・環境の構成の面での改善点が感じられたため、子ども達の姿を見直し室内外共に環境構成を常に心掛けたい。
- ・季節・行事に合った制作にすること、個々の発達に合った無理の無い活動になるよう工夫して進めている。
- ・子どもが楽しい雰囲気活動出来るような環境構成が出来たが、教育要領や園の方針を十分に頭に入れながらの保育が難しかった。
- ・園ならではの自然を取り入れた遊びは展開出来、心の豊かさを育む（色水や虫の観察）保育が出来たと思う。
「幼児期に育てたい力」を意識して集団遊びや固定遊具に挑戦し、クラス全員、鉄棒などの基礎は出来るようになった。（最初は鉄棒に怖くて触れない子も、前回りその他や様々な技が、出来るようになった）
- ・年長児の生活のスピードに慣れていない時期は、工夫した保育を取り入れることが難しかったが、子どもとたくさん関って一緒に遊ぶ時間を大切に出来た。
(お助けマン)
- ・自身の保育、学年としての（保育の）計画や実践、反省は常に出来ていたと思う。
- ・カリキュラム作りや保育計画に直接関ることがない為、保育や環境構成をそのまま受け入れる形になりがちであった。
- ・今年度、担任と補助が放課後話す機会があまり多く取れなかったと思います。翌日の保育内容や遊びについて、具体的に話し合いが出来ていれば準備や環境の工夫が出来たと思います。
- ・個性の強い子ども達が多かったので、常に安全な環境作りを目指した。個々に合う教材選びをした。
- ・保育室が図書室、預かり保育と用途が多く、絵本や預かり保育の玩具もあり、満3歳の部屋として落ちつかない環境であった。
- ・環境構成が不十分だと感じた。
- ・毎日帰りのバスの子供達を送り出して、すぐに退勤の時間になり慌ただしく時間が過ぎてしまい、十分にクラスのことについて話し合う時間がとれていない。個々の様子の相談、行事の準備や進め方などについて話すので精一杯になってしまっている。
- ・正社員の先生とゆっくり話す時間がなく、決まったことを聞いて動いている事が多かった為、計画の段階から話し合いに参加したかった。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・子どもの気が散らないように、環境構成を整える。
- ・どの活動も子ども達の気持ちを一番に考え、「やらせ」になっていないか、一つひとつ皆で考えやっていけたらと思う。
- ・自分の保育における疑問点等をフリーの先生に評価してもらったり、同学年で共有していきたい。
- ・一度幼稚園教育要領を読み、保育を見直していきたい。

- ・室内遊びの時コーナーを作ったり、廃材、素材を充実させたり、ごっこ遊びで使用するものを子ども達と手作りしたりと、常に子ども達と共に作り上げ、遊びを充実させていきたい。
- ・どうしてもある程度は限られた素材で製作することもあるため、より柔軟に取り入れ進めていきたい。
- ・教育要領や方針、指導計画の見直しをしっかりとしたうえで保育していく。
- ・マナー化しないためにも、しっかりカリキュラムをたてる。
- ・どの学年の保育でも、子どもと同じ目線になって遊びを共有することを一番大切にしていきたい。
カリキュラムや指導計画を意識して、「教育」の部分も改めて見直し、遊びと教育の両方を大切にしたい保育をしたい。
- ・環境構成の工夫、変化に力を注ぎ、専門書や研修、他のクラスのアイディアなど自ら積極的に学び実践していきたい。

(お助けマン)

- ・計画書を読むとともにその都度担任から内容を聞き、園の理念に沿った保育を心掛ける。
- ・子ども達が集中できる環境（コーナー遊びや素材等）を工夫して、遊びこめる園にある既存の玩具だけでなく、画用紙や折り紙、空き箱などを用いて製作遊びなど毎日同じではなく、子どもが期待出来るような保育をしていきたい。
- ・クラス分けの話し合いをしっかりとる。個々が遊び込める玩具があるといいと思った。
- ・子どもの人数、年齢を配慮し、保育室を検討する必要がある。
- ・子どもの思いに沿った環境構成を考え、子ども達が自ら活動していけるようにしたい。
- ・月に一度でも予め日を決めてクラスの様子や指導計画について、揃って話し合い出来る日を設けるようにしたい。
- ・行事前は特に計画を立てる時からねらいも含め、話し合いに参加することでより理解を深めて行動出来るようにしたい。

2. 保育の有り方・子どもへの対応（R6）

評価・反省

- ・異年齢での交流を取り入れその良さを実感できた。クラスの中で何を楽しんでいるのか把握できなかった子もいた。
- ・毎日朝、帰り、途中の子ども達の表情や顔色を見て体調の変化等気付く事が出来た。
- ・朝、教室で迎え入れることで十分に体調の確認をしたり、一人ひとりと関わり1日をスタートさせることが出来た。戸外でものびのび遊ぶ時間があり、安全に遊ぶことが出来た。
- ・異年齢での交流が少なくなっている。
- ・朝の視診が不十分で顔に薄く傷がある事を、いつできたものか正確に分からないことがあった。怪我に対し、忙しく園長先生に報告出来ない時があった。
- ・怪我に対し常に安全に気を配り、見守っていききたい。また、いつどこでできた怪我か把握し、職員間で共有し再度起こらないようにしていきたい。
- ・クラス担任であるが志都呂幼稚園の職員の一人であることを常に意識し、皆で話し合い相談など行いより良い園、保育作りをする必要があると感じた。
- ・職員間でも連携し、情報共有を徹底している。
- ・子ども一人ひとりの視診や発達に目を配って、適切な対応が出来た。
- ・クラスを超え互いに協力しながら子ども第一主義で、保育に取り組む。自己実現が出来るよう、常に務めている。
- ・初めての年長で戸惑うことも多く、自分のクラスのことで精一杯な場面があった。
- ・自ら子ども達と共に挑戦したり取り組んだりしながら、喜び悔しさなど共有することが出来た。

（お助けマン）

- ・健康、安全には最善の注意を払って保育に取り組んでいる。
- ・主に入るクラスの子どもとは深く関わる機会があるが、他のクラスの子どもとは浅い関わりになりがちであった。
- ・毎朝子ども一人ひとりと挨拶を交わし、体調だけでなく様子（髪型や服装など）も確認していた。帰りには集まりの時に、一人ひとり顔を見て朝と様子に変わりがないか確認できた。
- ・子ども達一人ひとりに寄り添って声掛けをする事が出来た。
- ・常に視診を大切にし、細かい体調の変化に気を配った。
異年齢交流で園内だけでなく園外へも出掛けたことで、更に交流が深まった。
- ・子ども一人ひとりの姿を理解して、それぞれに合った関わり方をもっとしたかった。
- ・常に一人ひとりの姿を真っ直ぐ受け止め関わる事が出来るようにしている。
- ・係り、役割の仕事を全うする為、子どもとゆっくり関わる時間があまりない。

反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・より積極的に、異年齢交流を取り入れる。
一日を振り返り、何をしていたか把握できていなかった子は、必ず翌日、積極的に関わるよう心掛ける。
- ・朝一番必ず担任が相対して迎えられるように、戸外あそびの時間をずらすなど、園として子ども

達の安全確認や体調、怪我等の視診が出来るよう見直す必要があると思う。

戸外で遊ぶ時間は大切だが、怪我や子ども達の安全等きちんと守る事が出来るよう、朝一番は担任が教室で全員を迎えるべきではと疑問がある。

- ・教室内、園内で危険な個所がないか、改めて見直していきたい。
- ・異年齢交流が少なく感じたため、行事予定になくとも積極的に交流が出来るとういと思った。
- ・計画にある時にだけ異年齢での交流を行うのではなく、戸外遊びの時でも積極的に関わりが増えるよう言葉掛けをしていきたい。
- ・立場の違う職員同士、「皆」で話し合いを行う場が設けられると良いと思った。目上の方に指導して頂いたことを活かし、自身も後輩指導を積極的に行えるようにしたい。
- ・今後も、個々の成長や日々の出来事を園長に報告し、子ども・保護者への対応をよりよいものになるように心掛けていきたい。
- ・時期によって一人ひとりの興味を持っていることは変わるので、コミュニケーションを大切にしていく。
- ・改めて大学の時に学んだ基本的な発達のことや園の環境について見直し、自分のクラスだけでなく学年全体、園全体にも目を向けて広い視野を持って保育を行いたい。
- ・異年齢交流を、ゆっくり出来るよう、予定を組む。
引き続き一人ひとりクラスの子どもの姿や様子を把握し、保育や援助に繋げられるようにする。

(お助けマン)

- ・現状に満足することなく日々の保育に専念していきたい。
子どもとのコミュニケーションを密にはかり、子どもの気持ちに寄り添っていきたい。
保育士同士の連携はとても大切だと思うので、平日頃より話し合いをしていきたい。
- ・自由あそび時等で、より多くの子どもと積極的に関わっていくことで子どもの理解を深めていく。
- ・子ども同士の関わりを把握することが出来たが、周りの子とトラブルがなかったり保育者の話をよく聞いて行動が出来ている子への関りが十分に出来なかった。来年度はより周りを見ることが出来るよう常に心掛けたいです。
- ・フリーで動くため急の応援に入る時の対応が難しかったので、子どもの様子を聞く場が欲しい。
- ・体調の変化が急に表れることがあるので、一人ひとりをよくみたり、家庭へもまだ本調子でない時は声掛けをしたりするなど、子ども達が健康で過ごすことが出来るよう配慮していく。
- ・子ども達の自己肯定感を高めていけるような関わり方、声掛けをして子ども達がより良い自分らしくいられるようにしていきたい。
- ・戸外遊びの時間を出来るだけ大切にと気を付けてはいるが、活動内容により少なくなってしまうている時もある為、活動内容を見直したい。
- ・子どもと関わる事が出来る貴重な時間を大切に、全力でなるべく多くの子どもと関わりたい。

3. 保育者としての能力・良識・適正

(R6年度)

評価・反省

- ・保護者の方と関る際、出来るだけ公平に関るよう心掛けていますが、話す機会や子どもの様子を伝えるなど、個人差が生じてしまったと考えられる。
- ・保育者としてどうあるべきかを常に意識し、日頃から所作や言葉遣い等、自分なりに考えて過ごすごことが出来た。
- ・送迎の子、バス通園の子では保護者の方と会う頻度が異なるため、もっと連絡帳や電話を活用し子どもの様子を伝えるべきだった。
- ・今年度体調不良で休んでいない為、今後も手洗いうがい徹底していきたい。
- ・子ども保護者とも、程よい距離感で会話するようにしている。
- ・よく園に来られる保護者とはコミュニケーションを多くとり様子を伝えられたが、バス通園などなかなかお会い出来ない保護者とのコミュニケーションが少なくなってしまった。
- ・プライベートも心豊かに、人として正しい行動に努めている。
- ・園舎園庭の清掃整頓や時間、期日を守ることが出来た。来年度も続けていきたい。
- ・保育者として子ども達の成長に携わることが出来ることに感謝し、誇りをもって日々保育を楽しむ過ごすごことが出来た。
- ・園の運営、経営の視点からより良い園の経営を心掛けた。

(お助けマン)

- ・保育者として、あるべき姿を実践していると思う。
- ・体調を崩すことがあり、日頃の生活習慣や自分の体力、ストレスの具合等見直す契機となった。
- ・人として当たり前の「時間を守る」ことが出来たが、余裕をもって出勤する事が出来るよう努めたいです。
- ・日々元気で明るく清潔感があるよう心掛けています。
- ・体調管理が自分自身気を付けていても、うまくできない時もあった。
- ・保育者として社会人として大人として大切なことは意識して行動できた。
- ・今年度は自分も家族も体調を崩しお休みをいただいしまうことが多かった。
- ・挨拶や清掃などは、自ら進んで心掛けるようにしています。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・どの保護者の方とどのくらい話したかを記録しておき、1週間で話さなかった事が無いようにするなど均等に関る。
- ・月末チェックが遅れてしまうことがあったので、間に合うよう提出したいと思う。
話し合いの場では後輩たちも意見を言い易い雰囲気を作り出していきたい。
- ・子ども達のトラブル等を自分だけで解決してしまうことがあるため、園長先生にも報告することを意識する。

- ・体調を万全にして、欠勤することなく保育に参加していきたい。
- ・偏りなく一人ひとりの保護者とのコミュニケーションを大切にし、様子を伝えられるよう連絡帳や電話対応も大切にする。
- ・与えられた仕事プラスアルファが出来るように努めたい。
偏った考え人間関係でなく、公平公正でいたい。
- ・来年度は新しく後輩を迎える為、自分のことだけでなく常に3年目という自覚を持ち、思いやりのあるサポートをしたい。
- ・働き方を改善し、温かい職場の中で一人ひとりが保育に前向きになれるよう自らも意見を伝えたり、受け止め合いながら変化出来るきっかけを作っていく。優先順位を考え仕事に取り組む。
- ・新制度2年目で、今一度5年6年先を考えて行動実行する。
- ・各自の体調管理は勿論、全ての職員が気持ちよく働ける（休める）環境づくりが進むと良い。

（お助けマン）

- ・自分の考え方だけにこだわらず、あらゆる意見思考に耳を傾け柔軟な姿勢をもっていきたい。遊具の点検は密に。
- ・今年度は体調不良で欠勤してしまったので、来年度は今以上に体調に気を付けて行動したいです。
- ・フリー会議があると良いのではないかな。初めて預りする子どもたちのクラスでの様子を知りたい。
- ・日々生活習慣を正したり運動不足を解消したりして体調管理に努め、健康な体で保育する事が出来るよう努めている。
- ・後輩指導が不十分だった。経験があるからこそ伝えられることもあるので、しっかりと伝えていきたい。
- ・感染予防、生活習慣等十分に気を付けているつもりだが、より一層気持ちを引き締めていきたい。
- ・寝不足のまま仕事に取り掛かる日もあるので、しっかり睡眠をとるよう心掛け健康管理に気を付けたい。

4. 保護者への対応（R6年度）

評価・反省

- ・保護者からの要望等については、受け止め自分で判断せず、他の職員にも共有してから解決を図った。お便りでクラスの様子を伝える頻度は少なかった。
- ・満遍なく様子を伝えるのが難しく、なかなか伝えるのが難しい保護者もいた。
- ・ブログ更新に日数が空いてしまうことがあった。
- ・年少組ということもあり、幼稚園が初めての保護者様も多くいるため、密に連絡することが出来た。
- ・電話対応で返答に自信がなく、確認を行うことが多々あった。
- ・保護者に直接様子を伝えることはあるが、クラスだよりは減った。
- ・ブログやインスタグラムなど、SNSでの発信がだんだん少なくなってしまった。
- ・保護者の願いをしっかりと受け止め理解して子どもの対応に努め、その成長をご家庭にも共有し子どもの自己肯定感だけでなくご両親の肯定感にも繋げるよう努力した。
- ・今年度は新しく関わる保護者の方がほとんどだったが、積極的に関わり信頼に繋げようと努めた。
- ・直接会った際には、子どもの最近の姿や頑張っていることを自ら伝えていたり、気になることなどは常に共有して子どもを共に見守ることが出来たと思う。また、気軽に相談、声を掛けてもらえるようコミュニケーションを大切に出来た。

（お助けマン）

- ・保護者からの意見や要望には、素直に受け止めて報告している。
 - ・直接保護者と関わることは少なかったが、担任や伝達ノートから個々の家庭の様子 of 把握に努めた。
 - ・毎日保護者と顔を合わせる機会があったが、様子を話す機会が多い人と少ない人とあったので来年度はより多くの保護者と話していきたいと思います。
 - ・その日に起きたことは必ずその日に保護者様に伝えることが出来た。（預かり保育）
 - ・子どもの様子や成長、気になることなど、細かいことでもお迎えに来た際に保護者様に伝え、信頼関係づくりに努めた。
 - ・お助けマンとして気付いたことがあった時は保護者に伝えるようにしたい。（担任にも伝えてから）
 - ・登降園時に必ず保護者の方とお会いできる為、大切な伝達事項含め、一人ひとりの頑張りやエピソード等直接お伝え出来る機会を大事にした。
 - ・何事も自分で結論を出さず、園長先生への報告、他の先生との確認を心掛けている。
- （バス業務）
- ・先生からの伝言を忘れないよう心掛けた。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・保護者対応は引き続き保育者間で共有してから対応する。
保護者様の方に伝えたい子どもの姿が有るときは、手紙を書いて家庭と連携を図る。
- ・連絡帳や電話でも一人ひとりの様子を「報連相」し、より子どものことを共有し理解出来る

ようにしたい。

- ・子どもの何気ない1コマを、ブログで細目に更新していく。
- ・年度後半になり、クラスのインスタグラムやブログの掲載回数が減ってきているので、意識して増やしていきたい。
- ・正確に答えるため確認することも大切だが、責任を持ち対応出来るよう大切なことはメモをするなどして情報を正確に覚えられるようにしたい。
- ・時間内でブログやクラスだよりなどを作成し、様子を（子ども達の）伝えていきたい。
- ・頻度や回数を決め、定期的に発信していけるようにする。
- ・保護者への信頼と安心を得る為の、丁寧な対応を継続したい。
- ・全保護者に平等に子どもの様子を伝えられなかったと感じた為、特にバスを利用する家庭との関わりを増やしたい（細かなことでも、連絡ノートなどで伝える）。
- ・クラスだよりの発信が少なかったので積極的に活用し、子どもやクラスの姿、自分の思いなどを伝えていきたい。

（お助けマン）

- ・より良い保育を目指して、保護者との対応を十分にしていきたい。
- ・園行事や送迎の際、なるべく声を掛け保護者の顔を覚え信頼関係を築いていく。
- ・自分で何でも出来ている子への関わりが少ないことにも繋がりますが、様子を保護者にあまり伝えられなかったので来年度はもっと密な話が出来よう（伝えられる）常に気を配っていききたいです。
- ・クラスでのことは担任が保護者様に伝えた方が良いのではないかな。
アプリも活用出来るのでは。
- ・子どもの様子など引き続き保護者様に伝えることに努め、安心して幼稚園に預けてもらえるようにする。
- ・保護者様との関りをより密にし、子どものことをお互いに理解しあえるようにしたい。
- ・安心して子どもを預けて頂けるよう、一回一回の顔を合わせられる機会を大切にしたい。
- ・引き続き報告、連絡、相談を意識して、真摯に対応していきたい。

（バス業務）

- ・園での傷や様子など降車時に伝える事が多いのでメモをとり忘れないようにする。

5. 地域の自然や社会との関わり

(R6年度)

評価・反省

- ・園見学希望の方からの電話で、分からずすぐに答えられない事があった。
- ・何度か見学者等に対応することがあったが、自分なりに対応することが出来た。
- ・より丁寧に細かな点についても対応出来るようにする。
すくすく教室では製作を行い、自分自身も楽しく活動出来た。
- ・入園希望の電話を受けた際、詳しく伝えることが出来ず事務に代わってもらった。
- ・もう一度入園のしおりを熟読し、理解を深めたい。
- ・緊張もするが、すくすく教室（子育て支援教室）で、明るく楽しく進行するよう心掛けている。
- ・園に対して聞かれた際に、自信をもってすぐに受け答えが出来なかった。
- ・災害時、地域での助け合いが命を繋ぐと思うので、地域の民生委員の方などにしっかり対応した。
- ・挨拶は常に明るくすることが出来たが、新入園児や業者等の対応で戸惑ってしまうことが多かった。
- ・地域の方、施設の方には自ら明るく挨拶をしている。
すくすく教室の担当では、自身の引き出しを発揮出来る流れを組んでいる。

(お助けマン)

- ・地域の方々来園者等、大きな声で明るく挨拶している。
- ・見学者や問い合わせの電話にも的確な対応が出来るよう、必要な情報はすぐに見られるよう保存した。
- ・すくすく教室に来ている子ども達や保護者に、自分から挨拶出来、またうめ組の子ども達も年下の子を気に掛ける様子も少しあった。
- ・来園者の方々に明るく挨拶を交わして和やかに対応出来るよう努めた。
- ・見学者や地域の方、すくすく教室で来園された方など丁寧な挨拶を心掛けた。
- ・「志都呂幼稚園の先生」という看板を背負っているので、どんな時も適した対応が出来るよう心掛けた。
- ・質問内容によっては、確認が必要な場合がある。
- ・すくすく教室などで色々質問を受けるが、すぐに答えられないことの方が多い。

(バス業務)

- ・保護者からの質問に答えられない時があった。

反省を基に来年度実行・改善する事

- ・どのような対応をするか聞くべき情報などを整理し、適切に対応出来るようにする。
- ・今後もやった事のない触れ合い遊びや手遊びを取り入れ、自身の保育にも繋げていきたい。
- ・もう一度入園のしおりを確認する。
- ・来年も「楽しかった」と、言ってもらえるように頑張りたい。
- ・再度、園の方針や理念を見直し受け答えが出来るようにする。
- ・すくすく教室（子育て支援教室）では、新しく楽しい出し物を披露したい。
- ・一つひとつの対応を丁寧に行い、分からない場合はその場で覚えて今年度よりも園の理解を深める。
- ・園全体の予定や未就園児対象の予定なども把握し、相談や質問に答えられるようにする。

（お助けマン）。

- ・園の評判や保育者の資質の評価にも繋がりがやすいので、明るくはきはきした対応をこれからも心掛けたい。
- ・相手の要件を的確に聞き、漏れの無いよう担当者に引き継ぐ。
- ・毎週来園している子に『〇〇ちゃん、くん』と一人ひとり名前を覚えて声を掛けることがあまり出来なかったので、来年度は気にかけることが出来るようにしたいです。」
- ・四季折々に幼稚園周りのお散歩はどうか。地域の人たちにも触れられるのではないかな。
- ・見学者の方に、園の方針、特色を的確にアピールすることができるよう努める。
- ・すくすく教室の担当には、新たなことに挑戦し、より楽しんでもらえるようにしたい。園のことをより知り、理解できるよう分からないことはしっかり確認しておく。
- ・出来るだけ様々な内容に対して的確に答えることが出来るように、常にスケジュール等把握するようにする。
- ・答えられなくても必ず上司に確認をし、責任を持った対応をしていきたい。

（バス業務）

- ・入園のしおりなどを読んで、しっかり答えられるようにする。

6. 研修と研究(R6年度)

評価・反省

- ・パネルシアターやエプロンシアター等、園の教材を活用することが出来た。
保育雑誌を読んで学ぶ機会は少なかった。
- ・製作や活動案など保育書等みて、保育に取り入れることが出来た。
- ・自ら研修に参加することは出来なかった。公開保育は実施していないが、園内研修で子どもの状況の発信、共有をすることが出来た。
- ・外国籍の研修を受けた後、クラスの子に対し実践することが出来たこともあり、研修により自身の知識も増えていることを実感する。
- ・毎回たくさんの学びを得られる研修を受けられるありがたみを大切に、一つひとつの研修に参加していきたい。
- ・研修で学んだことを時間が経過し、忘れてしまうことがあった。
- ・研修に参加し、保育に取り入れ活かすことが出来た。
- ・継続的に研修に参加し、学びを深めていく。
- ・公開保育などは不十分。互いの保育を見せ合うことで、より改善したり、意識した活動を展開したり自己の質を向上させたい。
- ・研修で学んだことを保育で実践したり、他の保育者に共有することが出来た（手遊び等）。
- ・今年はペアレントプログラムに参加させて頂いたり幼小連携の場で学びや交流する機会を頂き、新しい学びや発見、視点を得ることが出来た。それを、保育に活かすことや自らの課題、保育全体としての課題を考えることが出来た。

(お助けマン)

- ・職員間で学んだ事を共有したり、学びあっていきたい。
- ・浜松私立幼稚園協会や絵本の研修には、毎年参加させていただいている。
- ・夏の研修に参加し、時代に即した保育について学ぶことが出来た。
園内研修ではアレルギーや危機管理等、園の実情に合った内容の研修を深めることが出来た。
- ・園にある豊富な教材を十分活用することが出来なかったなので、来年度は様々な教材を活用して保育に努めたい。
- ・園内研修には、積極的に参加している。
- ・研修で学んだ保育の質を高めるという点で、休息を導入した。なかなかうまく回らず試行錯誤の段階である。
- ・研修に参加することに対し、時間も限られているので難しいところがあるが、出来る限り参加出来るようにしたい。
- ・途中からの復帰で、研修等に十分参加出来なかった。
エプロンシアター、紙芝居、パネルシアター等の教材については、積極的にクラスで使うことが出来た。
- ・時代と共に保育のやり方や考え方、また働き方などの変化に対応出来るよう、研修の必要性は十分に感じられる。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・保育雑誌を読み、取り入れられそうな遊びは積極的に実践する。
- ・園内の研修や教材等、より活用し学べるといいと思う。
- ・研修に意欲を持って参加し、園内での共有を大切にしていきたい。
- ・保育の専門書、専門雑誌を手にとることが少なくなってきたので、積極的に読んでいきたい。
- ・研修で得た学びを翌日から実行していくことを意識する。
- ・来年度4月からは、出来るだけ他園の公開保育にも参加したい。
- ・園内研修では、あまり積極的に意見を述べる事が出来なかったため、来年度は発言しより積極的に取り組みたい。
- ・経験年数が長くなる中で、ありきたりな保育や視点にならないよう常に新しい学びを自ら求め保育に取り入れて自らの力をつけていきたい。

(お助けマン)

- ・研修に参加することによって新しい学びや気づきなどがあるので、内容を検討してこれからも参加していきたい。
- ・AEDやアレルギー対応等は、繰り返し行うことで身に付けていく。
- ・毎年同じような教材を活用してしまっているので、自分自身のスキルアップにも繋がるよう新しいことにも挑戦していきたいです。。
- ・研修で学んだことをどんどん保育に取り入れていきたい。
- ・来年度に向けて休息に関することはまだいろいろ決まっていない状態であると思う。
保育士一人ひとりが保育の質を高められる休息時間のとり方を再度考える必要がある。
- ・新たな知識や技術等、研修や自己研鑽から得られることも多いので、研修に参加すること研究していくことを意識したい。
- ・研修等に参加出来る際には、十分学び吸収したい。
- ・長期休暇の時期に積極的に参加させて頂き、日々の保育に生かしたい。

安全な運転・業務について

評価・反省

- ・バス走行中にもし災害が発生したときに、子ども達や自分の命をどう守るかを常に考えるようにした。
- ・先生から伝達を頼まれても保護者に伝え忘れてしまい、後から電話で伝えた事が数回あった。
- ・目に見える傷を見逃したことがあったので、気を付けたい。
- ・保護者からのバス以外の質問に答えられない時があり、他の先生に教えてもらったことがありました。
- ・車内の子ども達の動き、他車の動きに注意し危険予測での運転。
- ・要望、意見について園長に報告、相談する。
- ・質問されても的確に答えが言えるように。
- ・安全運転で運行出来た。
- ・保護者への挨拶を心掛けている。
- ・地域の方々に朝の挨拶が出来た。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・継続してこれからも安全に対応出来るよう、心掛けていきたい。
- ・時間が遅れていたりすると、つい急いでしまうので乗降時にもう少し余裕を持ちたいと思います。
- ・伝え忘れのないように、メモして必ず見るようにしたいです。
- ・なるべく答えられないように入園のしおりを読み返したいと思います。
- ・感染症予防予防のため、車内の清掃、消毒等。
- ・相手の話を聞き、報告、連絡、相談、親切な対応をとる。
- ・積極的な挨拶や会話。質問に対応出来る。
- ・安全に運行する。
- ・朝夕の挨拶をする。
- ・園の見学者に質問されても的確に答える。